

平成27年度 事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 薬学共用試験センター

1 事業の成果

平成28年度に薬学実務実習を履修する全国の薬系大学(73大学74校)の学生(主に6年制課程の4、5年次学生)を対象とした第7回薬学共用試験(CBTは体験受験及び本試験と追・再試験、OSCEは本試験と追・再試験)を実施した。いずれも大過なく実施することができた。25年度に改訂されたモデルコアカリキュラムに準拠した試験実施(平成30年度以降)に向け、CBTに関してはCBT問題管理システムを改修し、これまでに蓄積したCBT出題問題の移行管理を始めた。一方OSCEに関しては、改訂モデルコアカリキュラムに対応した新規課題の導入準備を開始した。昨年度に引き続き、大災害などにより関東地区で不測の事態が発生した場合の事業継続準備として、CBT体験受験の実施中、近畿大学に一時的に設置する副事務局において、センターサーバから代理サーバへのシステムの切替や試験管理業務の引継ぎ等の実施訓練を行った。次年度以降も種々の状況を想定して訓練を行う予定である。

2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	26年度の実施状況の共有や27年度に向けた変更点や留意事項に関する説明のため、平成27年度OSCE実施説明会を開催した。	平成27年4月19日	慶応義塾大学薬学部	15人	全国薬系大学の教員(約100名)	548千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	CBT実施における注意点や第6回本試験で新たに見出された事象などの周知徹底を目的としてCBT実施およびモニター説明会を開催した。問題作成説明会も開催した	平成27年6月6日	慶応義塾大学薬学部	5人	全国薬系大学の教員(約150名)	75千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	第7回共用試験CBT本試験に先立ち、受験生の練習や体制の確認、新規問題の妥当性の検証を目的としたCBT体験受験を実施した。	平成27年7月22日～9月11日	73薬系大学74校	102人	全国薬系大学の教員(約230名)及び薬学生(10,301名)	1,843千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCEモニター説明会を開催しモニター業務について再確認した。	平成27年9月1日	慶応義塾大学薬学部	16人	全国薬系大学の教員(約75名)	516千円
薬学生に対する共用試験の実施及び管理運営事業	OSCEに関するワークショップを開催した。改訂モデルコアカリキュラムに対応したOSCEを想定した改定案やモニター業務の意義・問題点について協議した。	平成27年10月4日	名城大学薬学部	23人	全国薬系大学の教員や日本薬剤師会・日本病院薬剤師会からの推薦者(約150名)	590千円

<p>薬学生に対する 共用試験の実施 及び管理運営事 業</p>	<p>第7回共用試験(CBT、OSCE) の本試験および追・再試験 を実施した。</p>	<p>本試験：平成 27年11月28 日～平成28 年1月29日、 追・再試験： 平成28年2 月16日～3月 11日</p>	<p>73薬系大学74 校</p>	<p>275人</p>	<p>全国薬系大学の教 員(約750名)及び薬 学生(10,260名)</p>	<p>5,858千円</p>
--	--	--	-----------------------	-------------	---	----------------